

希望の翼に参加して

障害者の海外旅行 グラムへ

茨城新聞・茨城新聞文化福祉事業団主催

の、障害者の旅行「希望の翼」が11月28日、12月1日三泊四日で実施されました。「希望の翼」は海外旅行、希望号は国内旅行として隔年交替で実施されております。過去の旅行では当会員も数名参加されております。

今回参加者は7名、そのうち3名の方がボランティアとして活躍されました。

JTB・スタッフの皆様、ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

参加者の感想

★竹原 勇さん(付添い)



好天に恵まれ、楽しい旅行が出来ました。が、食べ物に合わず苦労しました。毎回ですが、今回も木村さんには大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

★竹原 良子さん(ボランティア)

フルーツワールドではトラクタートラム・チャモロダンス等、大自然の素晴らしさを味わう事が出来ました。

最後の日のさよならパーティーはそれぞれ大いに盛り上がり楽しいパーティーでした。

★竹原 輝明さん

五年ぶりの希望の翼。恋人岬で皆に車椅子を持ち上げてもらい、展望台で見た海がとてもきれいだった。

★木村 勇さん(ボランティア)



習慣になつている朝のウォーキングをかしませんでした。事前に地図で調べていたので見学場所の下見を兼ねて、効率的にあちこち歩きました。とてもいい旅行でした。

★軽部 和子さん(ボランティア)

竹原さんに誘われて今回初めてボランティアとして参加しました。

グアムは初めて行くので不安と期待で一杯でした。海は青くキラキラ輝き、自然はまだいっぱい残っていて花がきれいでした。

日本と違い四季がなく年中暑いので、暑さに弱い私にはとても住めそうにないなど実感しました。

188名の参加でしたが、いろいろな方と接することができて良かったと思います。皆さんが明るく元気に一生懸命頑張っている姿を見て私も励まされました。

ボランティアとしてどうしていいか迷っている私に皆さん声をかけて下さり、うれしかったです。私は体調が悪く皆さんにご迷惑をおかけしながらの活動でしたので、とても勉強になりました。ありがとうございました。

★東郷 正子さん



「希望の翼 in グラム」に初めて参加しました。木嶋さんのグループで行動、ボランティアの皆様のご協力のもと車いすごと出発。早朝での寒い日でした。グアムの気温は日本の夏と同じで、陽射しが強く、ビーチを散策したり、チャモロの生活様式見学、ハマトワールドではトラクターで散策、美味しいフルーツをいただきました。大自然の素晴らしさ、恋人岬の悲しいお話など。またショッピングに夢中になったり、ホテルでのさよならパーティーも。多くの友達ができ、楽しい旅でした。また機会がありましたら、皆さんと参加したいです。

★木嶋 保子さん



希望の翼三回目の参加です。足が(股関節)が痛くなったり固まってしまうと一歩も歩けなくなり、用心のために車椅子を使わせていただきました。重たい？私を押ししてください。軽部さん本当にありがとうございました。

普通のツアーに参加できない私達にはとてもありがたい企画で、色々な方と楽しさを共有できてよかったです。いい写真がたくさん撮れました。さっそく写真集CDを作りたいと思います。



希望の翼 参加者

新年食事会について

日時.. 平成27年1月19日(月)

場所.. ホテルレイクサイドつくば

レストラン

詳細は別紙にてお知らせします。食事の後ロビーで歌を歌いましょう!



編集後記：あわただしい年の瀬を迎えております。この一年皆様にはいかがお過ごしだったでしょうか？楽しい思い出を作りましたか？ちょっと体調を崩し、病院にかかられた方もおられるでしょうか。多くの方のご協力で楽しい行事に参加させていただきました。明ける年もいい一年にしていきたいものですね。(木嶋)